



音響式漏れ検知器

ユーザーマニュアル



お問い合わせ先

安全上の指示

これらの指示は、ユーザーが製品を正しく使用し、危険や財産損失を回避できるように保証することを目的としています。

法規と規則

- 製品の使用にあたって、お住まいの地域の電気安全性に関する法令を厳密に遵守する必要があります。

輸送

- 輸送中は、デバイスを元のパッケージまたは類似したパッケージに梱包してください。
- 開梱後は、後日使用できるように、梱包材を保存しておいてください。不具合が発生した場合、元の梱包材を使用して工場に機器を返送する必要があります。元の梱包材を使用せずに返送した場合、破損が発生する恐れがありますが、その際に、当社は一切責任を負いません。
- 製品を落下させたり、物理的な衝撃を与えないでください。本器を電磁妨害から遠ざけてください。

電源

- デバイスパッケージに電源アダプタが付属している場合は、付属のアダプタのみを使用してください。電源アダプタが付属していない場合は、使用する電源アダプタまたはその他の電源が制限電源の要件に準拠していることを確認してください。電源出力パラメータについては製品ラベルを確認してください。
- プラグが適切に電源ソケットに接続されていることを確認してください。

い。

- 1台の電源アダプターに2台以上の機器を接続してはなりません。過負荷によって過熱したり、火災発生の危険があります。

バッテリー

- 注意: バッテリーを不正な種別のものと交換すると爆発の危険があります。同一または同等のタイプのものとだけ交換してください。バッテリーのメーカーによって提供された指示に準拠して、使用済みバッテリーを処分してください。
- 不正な種別のバッテリーとの不適切な交換は、安全装置を無効にする場合があります(たとえば、一部のリチウムバッテリータイプの場合など)。
- バッテリーを火や高温のオープンの中に投入したり、バッテリーを機械的に粉砕したり切断したりしないでください。爆発の原因となることがあります。
- バッテリーを非常に高温の環境に放置しないでください。爆発や、可燃性の液体およびガスの漏出を引き起こす可能性があります。
- バッテリーを極端に低い空気圧下に置かないでください。爆発したり、可燃性の液体やガスが漏出する恐れがあります。
- 内蔵バッテリーは取り外しできません。修理については必要に応じてメーカーにお問い合わせください。
- バッテリーを長期保存する場合は、3か月に一度はフル充電して、バッテリーの品質を保つようにしてください。これを怠った場合、破損の原因となります。
- 認定メーカーのバッテリーをご使用ください。バッテリーの詳細な要件については、製品仕様を参照してください。
- 初回使用時は、電源オフの状態で4時間以上充電してください。

メンテナンス

- カメラの電源が入っているときは、感電のおそれがあるのでメンテナンスを行わないでください。
- 製品が正しく動作しない場合、販売店または最寄りのサービスセンターに連絡してください。承認されていない修理や保守行為による問題について、当社はいかなる責任も負いません。
- 必要ならば、エタノールを少量含ませたきれいな布でデバイスを静かに拭きます。
- メーカーが指定していない方法で使用的場合、デバイスが提供する保護機能が損なわれる恐れがあります。
- USB 3.0 PowerShareポートの電流の制限は、PCブランドによって異なる場合があります、非互換性の問題が発生する可能性があることに注意してください。したがって、USBデバイスがPCのUSB 3.0 PowerShareポート上で認識されない場合は、通常のUSB 3.0またはUSB 2.0ポートを使用することをお勧めします。

使用環境

- 実行環境がデバイスの要件を満たしていることを確認します。動作温度は-10°C～50°C (14°F～122°F)で、動作湿度は90%以下です。
- デバイスは、乾燥して換気の良い環境に配置してください。
- デバイスを強い電磁波や埃の多い環境にさらさないでください。
- デバイスを濡らさないようにしてください。

テクニカルサポート

<https://www.hikmicrotech.com/en/contact-us.html> ポータルは、HIKMICRO のお客様がHIKMICRO 製品を最大限に活用する上で役立ちます。ポータルから、サポートチーム、ソフトウェアとドキュメント、サービスの連絡先などにアクセスできます。

緊急

デバイスから煙や異臭、異音が発生した場合、すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。

限定的保証

製品保証ポリシーについては、QRコードをスキャンしてください。



メーカー住所

310052 中国浙江省杭州市滨江区西興地区段鳳通り 399 号 2 棟ユニット B
313 号室

Hangzhou Microimage Software Co., Ltd

記号の定義

本書で使用されている記号は以下のように定義されます。

記号の	説明
 危険	回避しないと、死亡または重傷を招く可能性のある危険な状況を示します。
 注意	潜在的に危険となりうる状況を表しており、防止できなかった場合、機器の損傷、データの消失、性能劣化など、予

音響式漏れ検知器ユーザーマニュアル

記号の	説明
	測不能な結果が生じる可能性があります。
 注意	本文中の重要点を強調したりそれを補う追加情報を提供します。

目次

1	概要	1
1.1	デバイスの説明	1
1.2	外観	2
2	準備	4
2.1	アクセサリの取り付け	4
2.1.1	ネックストラップの取り付け	4
2.1.2	インドアセンサーの取り付け	5
2.1.3	アウトドアセンサーの取り付け	7
2.2	デバイス電源オン/オフ	9
2.3	デバイスのスリープと起動	9
2.4	スワイプダウンメニュー	10
2.5	サウンド接続ボタンの機能調整	10
3	漏れの検知	11
3.1	クイック検査	12
3.2	複数サイトでの検査	14
3.3	音量を調整	15
3.4	聴力保護	16
3.5	NR 後の音量表示	17
3.6	SuperDetect	17
3.7	スクリーンショットのキャプチャ	19
3.8	音声録音	19
4	ローカルファイルの表示とエクスポート	21
4.1	アルバムとファイルの表示と管理	21
4.1.1	アルバムの管理	22
4.1.2	ファイルの表示と管理	22
4.2	ファイルのエクスポート	23

5	スクリーンキャスト	25
6	システム設定	26
6.1	言語	26
6.2	ダークモードに切り替え	26
6.3	スクリーン輝度調整	26
6.4	表示情報の設定	27
6.5	時刻と日付の設定	27
6.6	デバイス初期化	27
6.6.1	デバイスを工場出荷時設定に復元	27
6.6.2	デバイスストレージをフォーマットする	27
6.7	ファームウェアのアップデート	28
6.8	デバイス情報を表示	29
6.9	ログを保存	29

1 概要

1.1 デバイスの説明

音響式漏れ検知器は、技術者や配管業者が給排水、水道、住宅または商業施設の漏れを検知するための高性能なデバイスです。このデバイスは、4段階の周波数範囲とサウンド増幅機能をサポートし、漏れポイントを正確に特定することができます。インドアセンサーおよびアウトドアセンサーを搭載しているため、より多様なシナリオで隠れた漏れを検知することができます。

1.2 外観

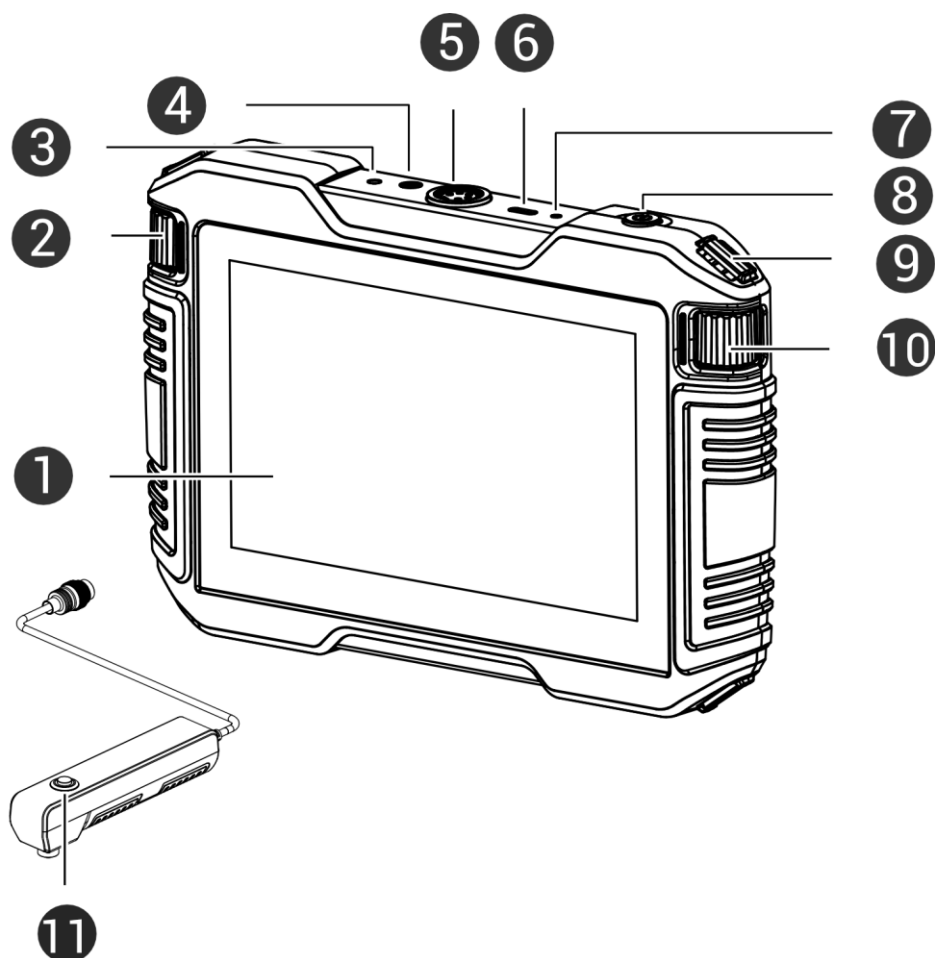


図 1-1 デバイス本体とハンドルグリップ

表 1-1 ボタンとインターフェイスの説明

番号	コンポーネント	機能
1	タッチスクリーン	ライブビューインターフェイスが表示されます。 タッチスクリーン操作。
2	音量ホイール	ヘッドセットの音量を調節します。
3	リセットキー	4 秒間長押しするとデバイスがリセットされます。

音響式漏れ検知器ユーザーマニュアル

番号	コンポーネント	機能
4	ヘッドセットジャック	ヘッドセットをデバイスに接続します。
5	センサーインターフェイス	インドアセンサーまたはアウトドアセンサーをデバイスに接続します。
6	Type-C インターフェイス	Type-C ケーブルで、デバイスを充電したり、ファイルをエクスポートすることができます。  最大充電速度を達成するには、充電器から供給される電力が、無線機器に必要な最小 6.7W から最大 10W の範囲でなければなりません
7	インジケーター	デバイスの充電状態を表示します。 ● 赤で点灯：正常に充電 ● 緑で点灯：満充電
8	電源キー	● 押し：スタンバイモード/デバイスの復帰 ● 長押し：電源オン/オフ
9	ネクストラップ取付ポイント	ネクストラップを取り付けます。
10	周波数ホイール	検知環境に応じて周波数範囲を切り替えます。
11	集音ボタン	長押しすると、インドアセンサーまたはアウトドアセンサーからの音声信号の受信が開始されます。離すと、音声信号の受信が停止します。  この機能は構成可能で、一部のモデルでのみサポートされます。手順については2.5 サウンド接続ボタンの機能調整を参照してください。

2 準備

2.1 アクセサリの取り付け



機器を損傷させないために、すべてのコネクタを締め付けます。

2.1.1 ネックストラップの取り付け

1. ネックストラップの一方の端をデバイスの取付ポイントに通し、固定します。
2. ステップ 1 を繰り返して、ネックストラップの取り付けを完了します。
3. 締め具合を適宜調節します。

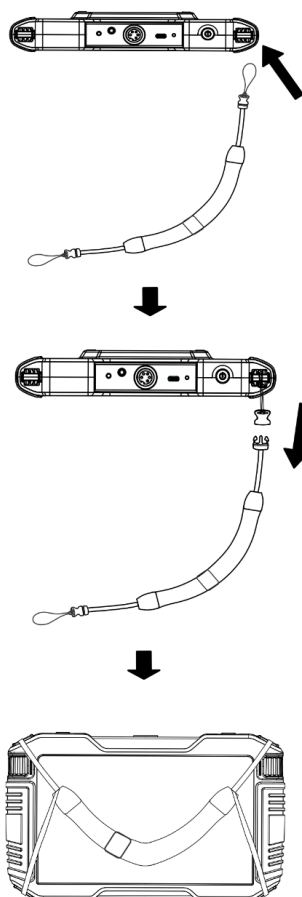


図 2-1 ネックストラップの取り付け

2.1.2 インドアセンサーの取り付け

インドアセンサーは、壁の後ろや床下の漏れを検出するためによく使用されます。

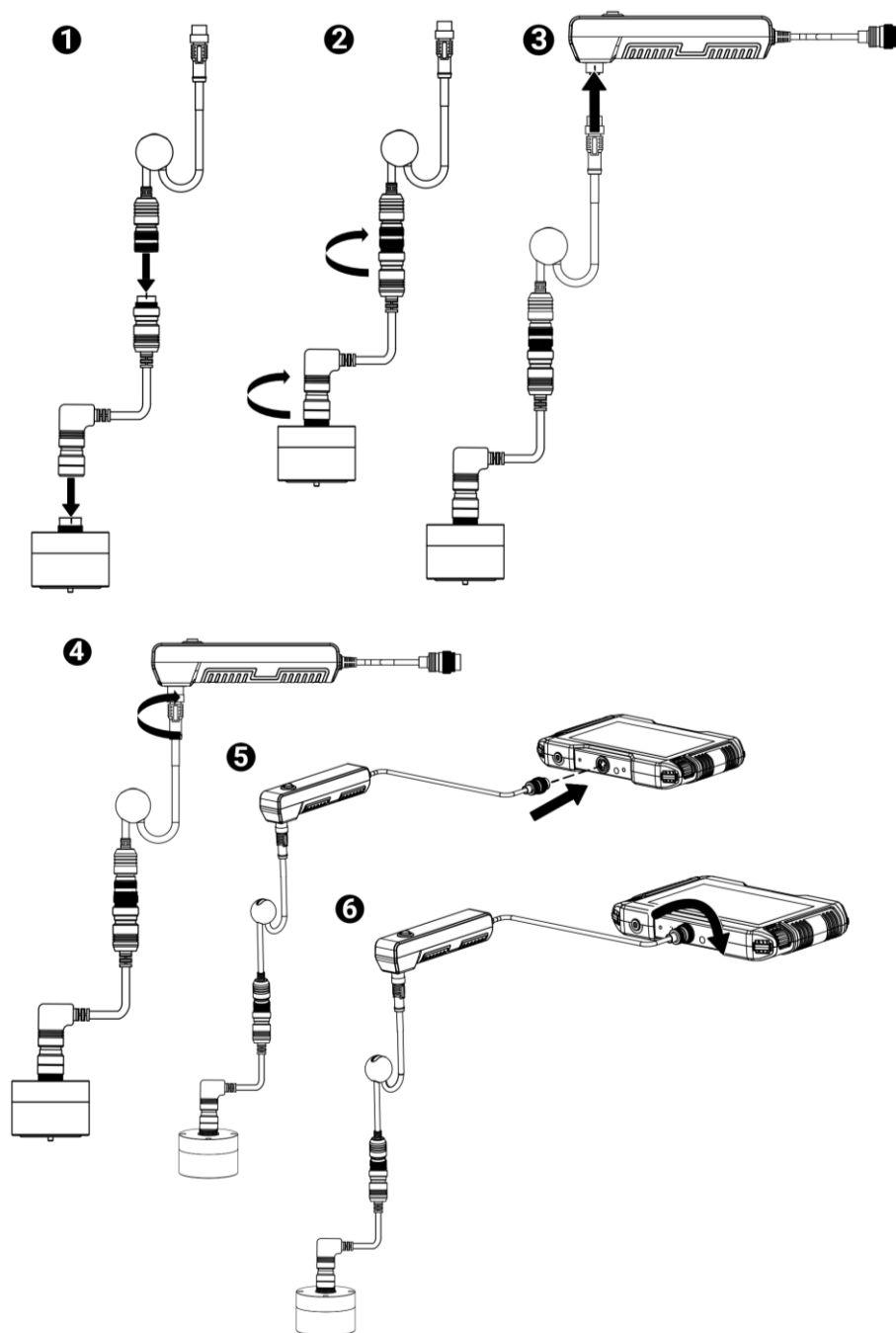


図 2-2 ハンドヘルドセンサーの取り付け

1. センサー接続ケーブルの2本のアビエーションコネクタをハンドルグリップとインドアセンサーに接続し、時計回りに回して締めます。センサーアダプターケーブルは、設置用オプションです。

2. ハンドルグリップのアビエーションコネクターをデバイスのセンサーインターフェイスに挿入します。
3. アビエーションコネクターを時計回りに回して締め付けます。



インドアセンサーはオプションであり、一部のモデルでのみ利用できます。

2.1.3 アウトドアセンサーの取り付け

アウトドアセンサーは、地中の漏れを検出するためによく使用されます。

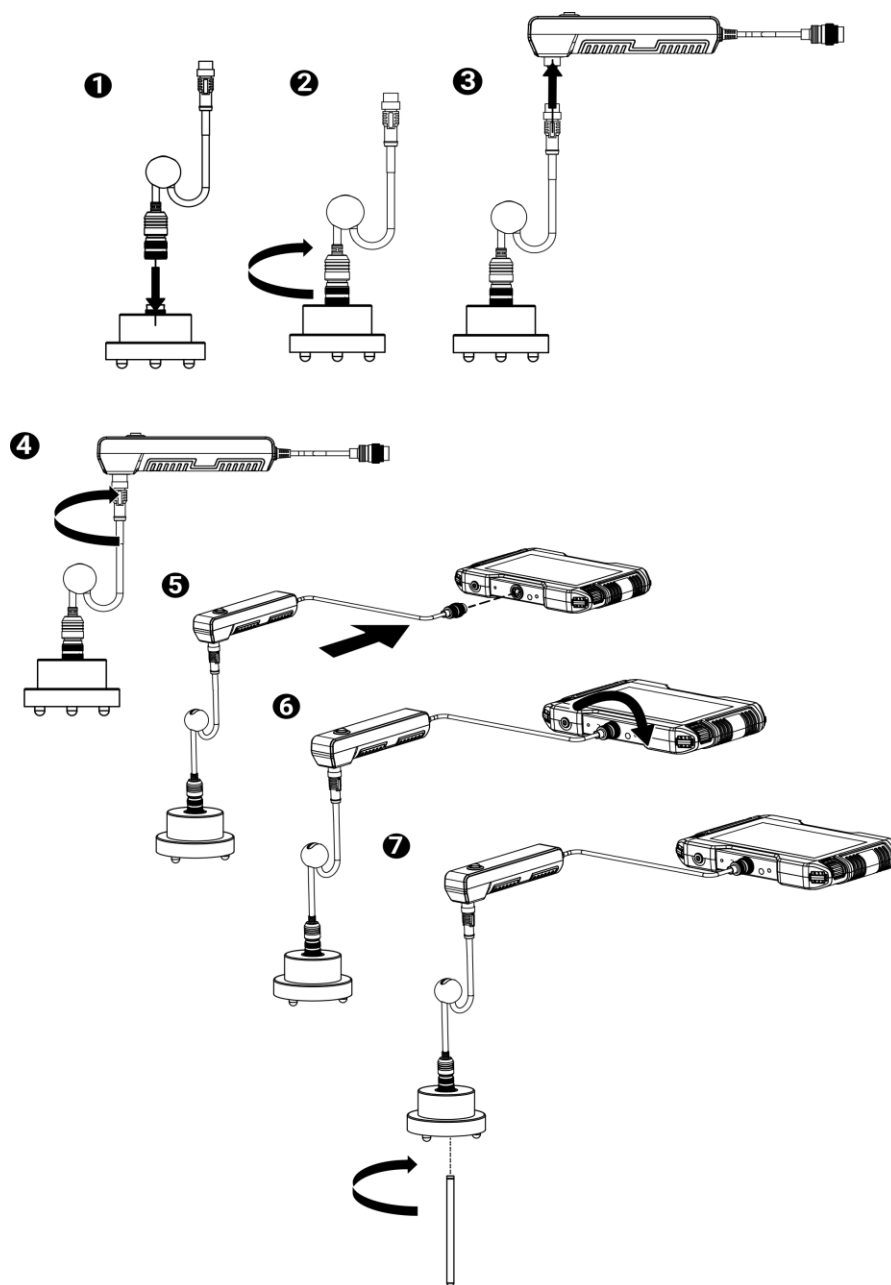


図 2-3 アウトドアセンサーの取り付け

1. センサー接続ケーブルの2本のアビエーションコネクタをハンドルグリップとアウトドアセンサーに接続し、時計回りに回して締めます。
2. ハンドルグリップのアビエーションコネクタをデバイスのセンサーインターフェイスに挿入します。
3. アビエーションコネクタを時計回りに回して締め付けます。

4. リスニングスティックを時計回りに回して締め付けます。



アウトドアセンサーはオプションであり、一部のモデルでのみ利用できます。

リスニングスティックはオプションです。狭い隙間にも届くようにスティックを使用します。

2.2 デバイス電源オン/オフ

 を 3 秒以上長押ししてデバイスの電源をオン/オフするか、【ローカル設定】>【デバイス設定】>【自動電源オフ】 から【自動電源オフ】を設定します。

自動スリープが有効な場合、設定された時間内にデバイスの操作がないと、デバイスは電源オフになります。

2.3 デバイスのスリープと起動

このデバイスは、画面の輝度を下げてバッテリーを節約するスリープモードに対応しています。

 を押して手動でスリープモードに進むか、【ローカル設定】>【デバイス設定】>【オートスリープ】 から【オートスリープ】を設定します。

自動スリープが有効な場合、設定された時間内にデバイスの操作がないと、デバイスの画面は暗くなります。

デバイスのスタンバイモードを解除するには、 を押します。

2.4 スワイプダウンメニュー

画面を上から下にスワイプして、スワイプダウンメニューを呼び出します。

スワイプダウンメニューでは、表示テーマ（日中または夜間）、画面の輝度の調整、ストレージ使用量の確認などを行えます。

2.5 サウンド接続ボタンの機能調整

ボタン（表 1-1 の No. 11）のデフォルト設定では、長押しでサウンド信号を接続し、離すと切断します。

ボタン操作の機能は、[ローカル設定] > [音声設定] で調整できます。

パス：

- センサーボタン：長押しで接続 > ボタンを長押ししてサウンドを収集します。
- センサーボタン：長押しで切断 > ボタンを長押ししてサウンドの収集を停止します。

3 漏れの検知



このデバイスによって検知された漏れの可能性は、あくまで参考情報です。漏れが確認されたら、修理を実施することをお勧めします。

一般的な漏れの検知手順は以下の通りです。

1. センサーとアクセサリの選択と組み立てについては、2 準備を参照してください。
2. リスニングスティックを検知面に置きます。
3. 音声接続ボタンでサウンド信号を接続します。ボタンの機能は設定可能です。2.5 サウンド接続ボタンの機能調整を参照してください
4. ヘッドセットでサウンドを聴き、画面上で音量、周波数、図を確認します。

このデバイスは、1つのサイトまたは複数のサイトからのサウンドを収集および分析するためのクイック検査モードと検査モードをサポートしています。



バージョンの違いにより、このマニュアルのスクリーンショットが実際のデバイスと多少異なる場合があります。

3.1 クイック検査

漏れが疑われる箇所からサウンドを収集する。

1.  をタップします
2. 周波数ホイール（図 1-1 の No.10）をスクロールして、周波数範囲を調整します
 - 屋内モード 1：5000 Hz～16000 Hz
 - 屋内モード 2：8000 Hz～16000 Hz
 - 屋外：200 Hz～2000 Hz
 - カスタム：200Hz～16000Hz（画面をタッチしてスライドし、周波数を調整します）。
3. センサーまたはリスニングスティックを検知面に置きます。
4. 音声接続ボタンでサウンド信号を接続します。画面には、収集された音量が表示されます。



ボタンの機能は設定可能です。2.5 サウンド接続ボタンの機能調整を参照してください。

5. サウンド信号の接続を解除します。画面には、可能性のある漏れの合計量が表示されます。
6. 収集中にスクリーンショットを保存したり、サイトの音声を録音したりできます。手順については3.7 スクリーンショットのキャプチャおよび3.8 音声録音を参照してください。



図 3-1 クイック検査

番号	説明
1	右側のホイールをスクロールして周波数を調整します
2	突然大きな音が発生すると、自動的に聴覚保護が有効になります。
3	センサータイプが表示されます。
4	ラインチャート、ヒストグラムまたは数字で表示される合計ボリュームです。
5	スクリーンショットのキャプチャ（一部のモデルでのみサポートされます）。
6	SuperDetect モードでの疑わしい漏れマーク（SuperDetect は特定のモデルでのみサポートされます）。
7	音声の録画（一部のモデルでのみサポートされます）。



SuperDetect が有効な場合、デバイスによって漏れの可能性が認識されると、NR 後の音量と監視エリアの両方の色がオレンジに変わります。

3.2 複数サイトでの検査

検査モードは、複数サイトのサウンドを収集して最も可能性の高い漏れを特定するために使用します。

1.  をタップします
2. 周波数ホイールをスクロールして周波数範囲を調整します。
3. センサーを設置し、1つのサイトからサウンドを収集します。
 - 1) サウンド信号が接続されている場合、バーをタップしてサウンドの接続を開始します。
 - 2) 音量が安定したら、バーをもう一度タップして停止します。
 - 3) バーの高さは音量を表します。

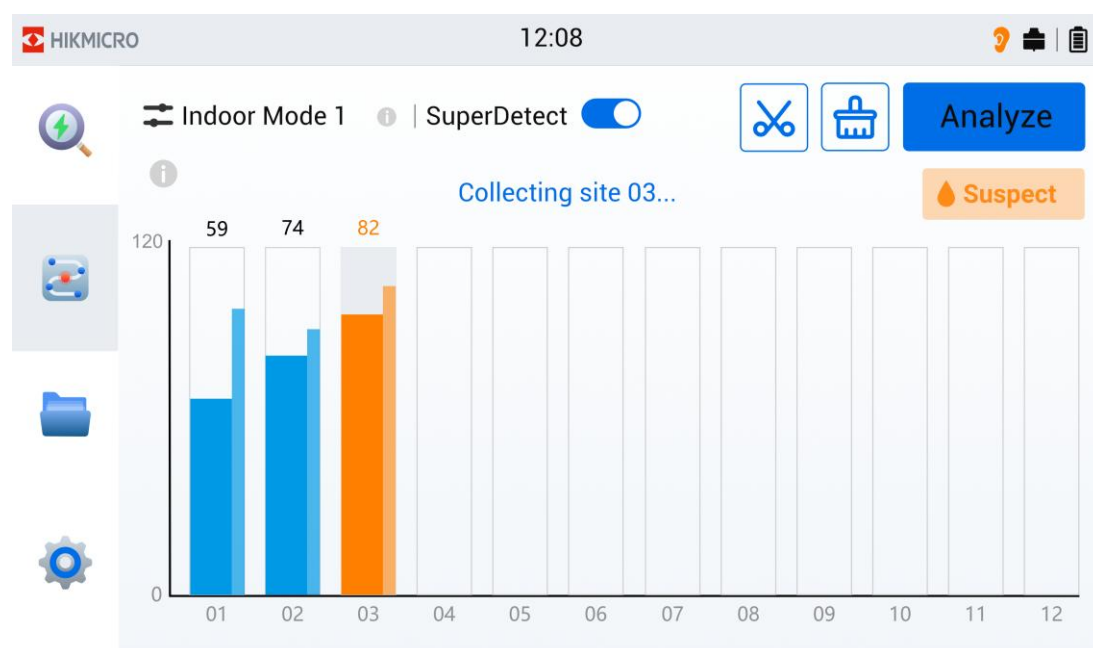


図 3-2 検査モードでのサウンド収集

4. 上記の手順を繰り返して、他のサイトからのサウンドを収集します。



- サイトでの再収集：バーをもう一度タップするとデータが消去され、再収集されます。
- すべてのデータを消去： をタップ

5. すべてのサイトの収集が終了したら、**[分析]** をタップします。デバイスは、収集されたデータをすべて分析し、漏れの可能性のあるサイトの番号をプロンプトします。

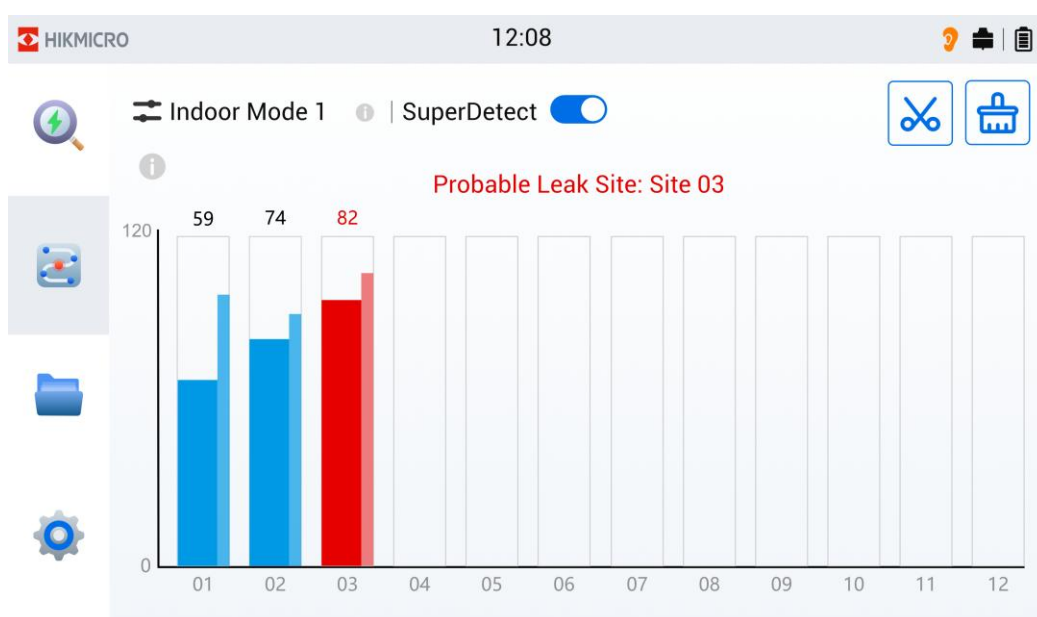


図 3-3 収集されたデータの分析

6. サウンド収集中にスクリーンショットを保存できます。3.7 スクリーンショットのキャプチャを参照してください。

3.3 音量を調整

3.5 mm ヘッドセットコネクタをヘッドセットジャケットに接続し、収集した音声を聴きます。デバイス左側のホイールをスクロールして、音量を調整します。

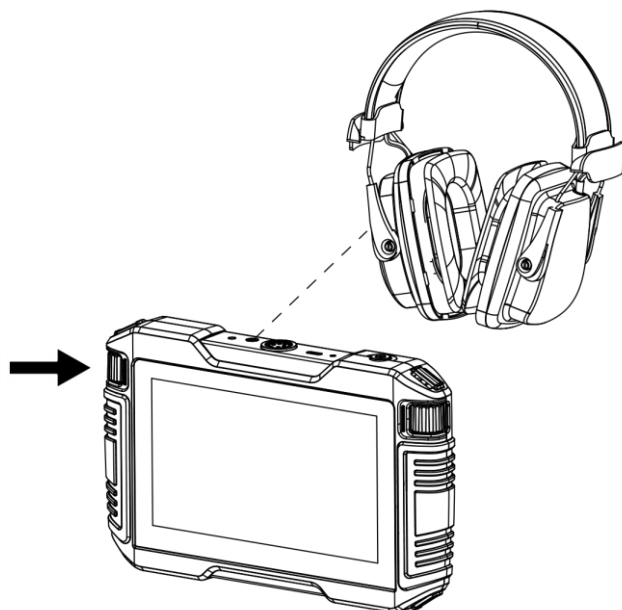


図 3-4 音量を調整



高音ノイズが発生した場合は、ヘッドセットをセンサーから離してください。

3.4 聴力保護

デバイスの聴覚保護機能をオンにします。高音ノイズが発生する環境で耳を保護することができます。

[聴覚保護] を **[ローカル設定]** > **[音声設定]** > **[聴覚保護]** で有効にします。もう一度タップするとオフになります。



聴覚保護がトリガーされると、デバイスは音声を遮断します。

3.5 NR 後の音量表示



この機能はシリーズの一部のモデルでサポートされます。

[NR 後の音量] を有効にすると、デバイスはサウンドを分析し、環境ノイズから可能性のある漏れの音量を区別します。

[ローカル設定] > [音声設定] > [NR 後の音量] に進み、機能を有効/無効にします。

この機能を有効にすると、音量は合計音量とノイズ除去処理後の音量の 2 つの値で表示されます。

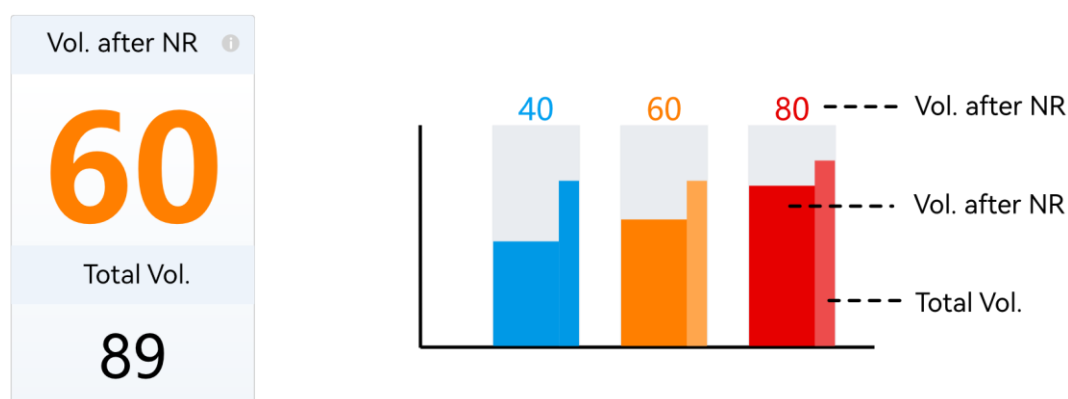


図 3-5 クイック検査と検査モードの NR 後の音量

3.6 SuperDetect



この機能はシリーズの一部のモデルでサポートされます。

SuperDetect は、サウンド収集中にガス漏れや水漏れを自動的に認識するデバイス機能です。SuperDetect はクイック検査モードと検査モードの両方で利用できます。

1. 次の方法で機能をオンにします。

- 検査ページで [SuperDetect] トグルをタップします。
- [ローカル設定] > [音声設定] > [SuperDetect] に進み、機能を有効にします。



SuperDetect がオンの場合、周波数は屋内モード 1 と屋内モード 2 に固定されます。



2. では、3.1 クイック検査の手順に従って漏れを検出します。デバイスによって漏れの可能性が検知されると、音量の色がオレンジに変わり、漏れの疑いがあることを示すオレンジのアイコンが画面に表示されます。



3. では、3.2 複数サイトでの検査の手順に従ってサウンドを収集します。デバイスによって漏れの可能性が検知されると、サイトの音量バーがオレンジに変わり、漏れの疑いがあることを示すオレンジのアイコンが画面に表示されます。



検査モードで SuperDetect をオン/オフすると、収集されたサイトデータが消去されます。

3.7 スクリーンショットのキャプチャ

1.  および  では、 をタップしてスクリーンショットをキャプチャします。
2.  をタップしてスクリーンショットを保存します。スクリーンショットは、アルバムとデバイスのストレージに保存されます。ファイルの表示とエクスポートについては、4 ローカルファイルの表示とエクスポートを参照してください。
3. (オプション)  をタップしてスクリーンショットを削除します。
4. (オプション)  をタップし、テキストコメントを追加します。画面をタップして内容を入力し、 をタップして保存します。



この機能はシリーズの一部のモデルでサポートされます。

3.8 音声録音

1. クイック検査モードで、 をタップして音声ファイルの録音を開始します。 をタップして、録画を停止します。
2.  をタップしてファイルを保存します。音声ファイルはアルバムとデバイスのストレージに保存されます。ファイルの表示とエクスポートについては、4 ローカルファイルの表示とエクスポートを参照してください。
3. (オプション)  をタップしてファイルを削除します。
4. (オプション)  をタップし、テキストコメントを追加します。画面をタップして内容を入力し、 をタップして保存します。



この機能はシリーズの一部のモデルでサポートされます。

サウンド信号が接続されたときに音声を録音します。

音声ファイルの最大長は1分です。上限に達すると録画は停止します。

4 ローカルファイルの表示とエクスポート

スクリーンショット、音声ファイル、ログはデバイスに保存されます。ユーザーは、アルバムからスクリーンショットや音声ファイルを表示できます。すべてのファイルは、コンピュータへの USB 接続を介してアクセスおよびエクスポートできます。

4.1 アルバムとファイルの表示と管理

スクリーンショットと音声ファイルはアルバムに保存されます。ユーザーは、アルバムからそれらを表示してファイル情報を閲覧できます。[アルバム] では、ユーザーは新しいアルバムを作成したり、デフォルトの保存先アルバムを設定したり、アルバム名を変更したり、アルバムを削除したりすることができます。ファイルについては、移動、削除、テキストメモの追加、ファイル詳細の表示などの操作がサポートされています。

1.  をタップして [アルバム] に移動します。
2. アルバムをタップして開きます。
3. ファイルを選択してタップすると表示されます。
4. アルバムの追加、削除、名前の変更、またはデフォルトの保存先アルバムの設定については、4.1.1 アルバムの管理を参照してください。
5. ファイルの移動や削除、ファイルの詳細の表示については、4.1.2 ファイルの表示と管理を参照してください。

4.1.1 アルバムの管理

1.  をタップして【アルバム】に移動します。
2. 新規アルバムを作成します。
 - 1) 画面右上の  をタップして、新しいアルバムを作成します。
 - 2) アルバム名を編集し、 をタップして保存します。
3. (オプション) アルバム名を変更したり、削除したり、デフォルトの保存先として設定したりすることができます。
 - 1) アルバムを選択してください。
 - 2) 画面右上の  をタップします。
 - 3) アルバムをデフォルトの保存先アルバムとして設定したり、アルバム名を変更したり、必要に応じてアルバムを削除したりすることができます。
 - 4) デフォルトの保存先アルバムとして設定されると、アルバムアイコンは  に変更されます。新しいスクリーンショットと音声は、デフォルトのアルバムに保存されます。

4.1.2 ファイルの表示と管理

ユーザーは、ファイルにテキストメモを追加したり、ファイルを移動したり、ファイルの詳細を表示したり、ファイルを削除したりすることができます。

1.  をタップして【アルバム】に移動します。
2. アルバムを選択してください。
3. スクリーンショットと音声を表示します。
 - 1) ファイルを選択して表示します。

- 2) 左/右ナビゲーションキーを短くタップして、スクリーンショット/音声ファイルを前後に素早く切り替えます。
4. (オプション) テキストメモを追加します。
 - 1)  をタップしてテキストメモを追加します。ポップアップキーボードインターフェイスで、タッチ入力でテキストを入力します。
 - 2) テキストを入力したら、 をタップして確定します。
5. (オプション) 複数のファイルを移動または削除します。
 - 1) アルバムに進み、右上の  をタップします。
 - 2) 上または下にスワイプしてファイルを閲覧し、タップして選択します。すべてのファイルを選択するには、右上の  をタップします。すべてのファイルを選択解除するには、右上の  をタップします。
 - 3) 選択したファイルのサムネイルの右上に、 が表示されます。
 - 4) 画面下部の  をタップして移動するか、 をタップして削除します。
 - 削除する場合は、ファイル削除のアクションを確認します。
 - 移動する場合は、ファイルを移動するターゲットのアルバムを選択します。
6. (オプション) ファイルの詳細を表示します。

 をタップすると、周波数範囲、ヘッドセットの音量、センサーのタイプなど、スクリーンショット作成時に記録された詳細が表示されます。

4.2 ファイルのエクスポート

デバイスと PC を USB ケーブルで接続し、ファイルを表示してエクスポートします。

1. USB ケーブルでデバイスと PC を接続します。
2. デバイスのポップアップウィンドウで、**[USB ドライブ]** を選択します。
3. PC の USB ドライブフォルダを開きます。スクリーンショットと音声ファイルは DCIM フォルダに、ログファイルはログフォルダに保存されます。
4. ファイルを表示して、目的のファイルを PC ストレージにコピーします。

5 スクリーンキャスト

このデバイスは、PC でのライブストリーミング用の標準 UVC プロトコルをサポートします。UVC プロトコルベースのプレイヤーを PC に事前にダウンロードしてインストールしてください。

1. USB ケーブルでデバイスと PC を接続します。
2. デバイスでスクリーンキャスト機能を有効にします。デバイスのポップアップウィンドウで、[スクリーンキャスト] を選択します。
3. UVC プロトコルベースのプレイヤーを起動します。デバイスのスクリーンがプレイヤーにキャストされます。

6 システム設定

6.1 言語

言語設定は、デバイスを初めて起動するとき、およびデバイス設定を復元したときに利用できます。

または、[ローカル設定]>[デバイス設定]>[言語] で言語を変更することができます。

6.2 ダークモードに切り替え

スクリーンテーマにはダークモードとブライトモードが利用できます。

テーマモードの変更は、スワイプダウンメニューまたは [ローカル設定]>[デバイス設定]>[ダークモード] から行うことができます。

6.3 スクリーン輝度調整

スワイプダウンメニューで、または [ローカル設定]>[デバイス設定]>[スクリーン輝度] から画面の輝度を調整できます。

青いバーをスライドして輝度を変更します。

6.4 表示情報の設定

[ローカル設定] > [表示設定] から、時間、データ、およびステータスアイコンの表示または非表示を選択できます。

6.5 時刻と日付の設定

時刻と日付は、デバイスを初めて起動する時と、デバイス設定を復元した後に設定できます。

または、[ローカル設定] > [デバイス設定] > [時刻と日付]から設定を変更することもできます。

6.6 デバイス初期化

6.6.1 デバイスを工場出荷時設定に復元

デバイス設定を復元する方法は2つあります。

- デバイスのリセットボタン（図 1-1 の No.3）を押します。
- [ローカル設定] > [デバイス設定] > [デバイスの初期化] > [デバイスの復元] に移動します

6.6.2 デバイスストレージをフォーマットする

[ローカル設定] > [デバイス設定] > [デバイスの初期化] > [ストレージのフォーマット] の順に移動します。



注意して実行してください。ストレージをフォーマットすると、データは復元できません。

6.7 ファームウェアのアップデート

アップグレードファイルを介してファームウェアをアップグレードします。



公式サイト <http://www.hikmicrotech.com> からアップグレードファイルをダウンロードしてください。もしくは、まずカスタマーサービスとテクニカルサポートに連絡してアップグレードファイルを手入れしてください。デバイスのバッテリーが満充電になっていることを確認してください。誤ってアップグレードが中断しないように、オートパワーオフ機能がオフになっていることを確認してください。

1. 付属の USB ケーブルでデバイスとパソコンを接続します。
 2. (オプション) 一部のモデルでは、デバイスのポップアップウィンドウで、**[USB ドライブ]**モードを選択します。
 3. アップグレードファイルを解凍してコピーし、カメラのルートディレクトリに貼り付けます。
 4. PC からデバイスを取り外します。
 5. デバイスを再起動すると、自動的にアップグレードされます。アップグレードのプロセスがメインインターフェイスに表示されます。
-



アップグレード後、デバイスは自動的に再起動します。現在のバージョンは、**[設定] > [デバイス設定] > [デバイス情報]** で確認できます。

6.8 デバイス情報を表示

[ローカル設定] > [デバイス設定] > [デバイス情報] に移動して、モデル、シリアル番号、ファームウェアバージョン、IP アドレスなどのデバイス情報を表示します。

6.9 ログを保存

デバイスはトラブルシューティングのための操作ログの保存をサポートしています。ログは、デバイスストレージのルートディレクトリの下のログフォルダーに保存されます。デバイスを PC に接続してログをエクスポートします。

1. [ローカル設定] > [デバイス設定] > [ログを保存] に移動して、機能を有効にします。
2. デバイスは操作ログの保存を開始します。機能をオフにするか、デバイスを再起動または電源をオフにすると停止します。



再起動後にログを保存する必要がある場合は、機能を再度有効にする必要があります。

3. デバイスストレージにアクセスし、ログファイル（ログフォルダ内）を PC にコピーして、テクニカルサポートにファイルを送信します。手順については4 ローカルファイルの表示とエクスポートを参照してください。

法的情報

© Hangzhou Microimage Software Co., Ltd. 禁・無断複製。

本マニュアルについて

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明のみを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されることがあります。このマニュアルの最新版は、HIKMICRO Web サイト (<http://www.hikmicrotech.com>) でご確認ください。

本マニュアルは、本製品をサポートする訓練を受けた専門家の指導・支援を受けた上でご使用ください。

商標



HIKMICRO およびその他の HIKMICRO の商標とロゴは、様々な裁判管轄地域における HIKMICRO の所有物です。

言及されているその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。

免責事項

適用法で認められる最大限の範囲で、本マニュアルおよび説明されている製品（ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は、[現状のまま]および[すべての欠陥とエラーがある]状態で提供されます。HIKMICRO

では、明示あるいは黙示を問わず、商品性、満足な品質、または特定目的に対する適合性などを一切保証しません。本製品は、お客様の自己責任においてご利用ください。HIKMICRO は、本製品の利用に関連する事業利益の損失や事業妨害、データの損失、システムの障害、文書の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して、それが契約に対する違反、不法行為(過失を含む)、製品の責任または製品の使用に関連するものであっても、たとえ HIKMICRO がそうした損害および損失について通知を受けていたとしても、一切の責任を負いません。

お客様は、インターネットにはその性質上固有のセキュリティリスクがあることを了解し、異常動作、プライバシーの流出、またはサイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウィルス感染等のインターネットセキュリティリスクによる損害について、HIKMICRO は一切責任を負いません。ただし、必要に応じて HIKMICRO は適時技術的サポートを提供します。

お客様には、すべての適用法に従って本製品を利用し、さらにご自分の利用法が適用法を順守していることを確認する責任があります。特に、肖像権、知的財産権、またはデータ保護等のプライバシー権を非限定的に含むサードパーティの権利を侵害しない手段で本製品を利用する責任があります。大量破壊兵器の開発や生産、化学兵器・生物兵器の開発や生産、核爆発物や危険な核燃料サイクル、または人権侵害に資する活動を含む、禁じられている最終用途の目的で本製品を使用してはなりません。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、後者が優先されます。

規制情報

これらの条項は、対応するマークまたは情報が付された製品にのみ適用されます。

EU 適合宣言



本製品および同梱の周辺機器（適用可能な場合）には「CE」マークが付いており、指令 2014/30/EU（EMCD）および指令 2011/65/EU（RoHS）の下に記載されている該当欧州統一規格に準拠しています。



指令 2012/19/EU (WEEE 指令)：この記号が付いている製品は、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。より詳細な情報については以下をご確認ください。
www.recyclethis.info



規制 (EU) 2023/1542 (バッテリー規制)：この製品にはバッテリーが含まれており、規制 (EU) 2023/1542 に準拠しています。バッテリーは、欧州連合 (EU) の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb) を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業

者か、指定された収集場所にご返却ください。より詳細な情報については以下をご確認ください。

www.recyclethis.info

Hangzhou Microimage Software Co., Ltd.では、本デバイス（ラベルを参照）が指令 2014/53/EU に適合していることをここに宣言します。

EU 適合宣言書の全文は、以下のインターネットアドレスから入手いただくことができます：

<https://www.hikmicrotech.com/en/support/download-center/declaration-of-conformity/>

RF 曝露情報

このデバイスはテスト済みで、無線周波数（RF）曝露の適用制限を満たしています。

付属の電源アダプターがない場合は、デバイスに認定メーカーが供給する電源アダプターをご使用ください。電源の詳細な要件については、製品仕様を参照してください。

付属のバッテリーがない場合は、デバイスに認定メーカーが供給するバッテリーをご使用ください。バッテリーの詳細な要件については、製品仕様を参照してください。



HIKMICRO

See the World in a New Way



Hikmicro Industrial



support@hikmicrotech.com



HIKMICRO Industrial



hikmicro_industrial



HIKMICRO



www.hikmicrotech.com